

社会

11月14日（金）

	学級	授業者	単元名・題材名
公開授業 1 13:00～	3年2組	天野 順幾	店ではたらく人
	5年2組	西岡 藍子	米づくりのさかんな地域
公開授業 2 14:00～	6年3組	七原 正和	世界に歩み出した日本

指導と評価の計画

単元名

第3学年 はたらく人とわたしたちの暮らし
-店ではたらく人-

内容のまとめ

第3学年(2) 地域に見られる生産や販売
の仕事

1 単元の目標

地域の人々の販売に関わる仕事について関心をもち、これらの仕事が自分たちの生活を支えていることや仕事に見られる特色、他地域などのかかわりについて見学したり資料を活用したりして調べることを通して、販売の仕事に携わっている人々の工夫を自分たちの生活と関連付けて考えることができるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。	①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現している。	①地域にみられる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめている。	②販売の仕事の様子と地域の人の生活との関連を考え、適切に表現している。	

3 指導と評価の計画(全15時間)

○:記録に残す評価

●:指導に生かす評価

時間	ねらい	■主な学習活動・内容	□資料	評価方法と 【評価規準】
1 よく買い物に行くお店	よく買い物に行く店について話し合う活動を通して、家の人にインタビューする計画を立て、自分たちの住む地域には様々な種類の店があることを知り、学びに対する意欲を高めることができる。	■北小学校のまわりにある店について話し合い、本時の課題をつくる。 ・家の人とスーパーマーケットSとかスーパーマーケットVに行くよ。 ・近所のコンビニエンスストアに行くよ。 ・ドラッグストアでお菓子とかジュースを買ってもらうよ。 北小学校のまわりには、どんなお店があるのだろう。 ■校区にあるお店の位置が入った地図を使いながら確認する。 ・スーパーマーケットVがあるね。 ・北小学校から歩いてすぐの場所にスーパーマーケットSがあるね。 ・ドラッグストアもいろいろあるね。 ・コンビニもあるね。 ■家の人が、どの店によく行くかを質問するカードをつくる。 北小学校のまわりには、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニといったお店があることがわかった。家の中は、どんなお店で買い物するのかな。	□北小学校のまわりにあるお店の地図	ノートの記述や発言内容から、「北小学校のまわりには様々なお店があることを知り、学びに対する意欲を高めることができるか」を評価する。 【態-①】○●
2 買い物調べ	家の人がよく買い物に行く店について、調べた結果を地図にまとめる活動を通して、家の人に応じて買い物に行く店を使い分けていることを理解することができる。	■家の人がよく買い物に行く店がどこにあるか、地図にシールを貼って課題をつくる。 ・スーパーマーケットVに行く人が多い。 ・スーパーマーケットSに行く人も多いな。 3年2組のみんなの家の中は、どこのお店で買っているのだろう。 ■集計結果を表にまとめ、気付いたことを話し合う。 ・家の中は、スーパーマーケットに行くことが多いと思ったけどやっぱりそうだった。 ・スーパーマーケットに行く理由は、色々な品物を一度に買うことができるからということが分かった。 ・ドラッグストアやコンビニにも行くことがあるとわかった。 家の中は、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニなど色々な店に行くことが分かった。その中でも、特にスーパーマーケットに行き、買い物をすることが多い。3年2組のみんなの家の中は北小学校近くのスーパーマーケットSやスーパーマーケットVに行く人が多い。	□必殺ワザシート □買い物調べシート □図書館の本 □北小学校のまわりにあるお店の地図	ノートの記述や発言内容から、「家の人に応じて買い物に行く店を使い分けていることを理解しているか」を評価する。 【知-②】●

3 スーパーマーケットについて話し合う	スーパーマーケットについて疑問に思ったことを話し合い、予想や学習計画を立てることができる。	■家の人がスーパーマーケットに行く理由について話し合い、課題をつくる。 スーパーマーケットSについて気づいたことやふしぎに思ったことを話し合い、学習問題をつくらう。 ■資料から調べる。 ・いろいろな品物を一度に買うことができる。 ・駐車場が広いから車で行きやすい。 ・コンビニより広い。 ・たくさんの人がはたらいっている。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・スーパーマーケットは、コンビニより広くて、食べ物以外の品物も売っている。 ・一度にたくさんの品物を買っている。お客さんはたくさんの品物を買うのではないかな。 スーパーマーケットに行けば、たくさんの種類の品物を一度に買うことができる。また、どこに何が売っているか分かりやすいなど買い物がしやすいというべんりさもある。また、みんなの家の近くにあるという近さもべんりなところだな。 ■調べたことから疑問をもち、学習問題を立てる。 学習問題 スーパーマーケットSは、多くのお客さんに買い物をしてもらうために、どんなくふうや努力をしているのだろう。	□必殺ワザシート □買い物調べシート □北小学校のまわりにあるお店の地図	ノートの記述内容や発言から、「スーパーマーケットが行っている努力や工夫を予想し、調べる見通しをもつことができるか」を評価する。 【態-①】○○●
4 見学の計画	スーパーマーケットの店内で見たいこと、聞きたいこと、調べたいことを交流し、見学への意欲を高めることができる。	■学校の近くにあるスーパーマーケットSを見学するときに、見たいこと、聞きたいこと、調べたいことが何かを話し合い、課題をつくる。 スーパーマーケットSで見たいこと聞きたいことをまとめよう。 ■聞きたいことや見たいことをまとめる。 ・お店の人はどんな思いではたらいっているのかな。 ・品物はどうやってならべられているのかな。 ・どんな人がはたらいっているのかな。 ・お客さんの願いをかなえるために、どんなくふうをしているのだろう。 スーパーマーケットSにはどんな品物があり、どのようにならべられているのだろう。また、どんな人がはたらいいて、どんな気持ちではたらいっているのだろう。お客さんの願いをかなえるために、どんなくふうをしているのだろう。	□必殺ワザシート □見学メモ	見学メモの計画内容から、「スーパーマーケットについて疑問に感じていることを交流し、見学することへの意欲を高め、計画を立てているか」を評価する。 【態-①】●

5・6 スーパーマーケットSの見学	スーパーマーケットの見学を通して、スーパーマーケットで働く人たちは、売り場やバックヤードなど様々なところで、お客さんの願いにこたえ、たしなみに工夫して働いていることを理解することができる。	■見学メモをもとに、北小学校の近くにあるスーパーマーケットSに見学に行く。 ・売り場以外にもはたらいっている人がいるんだ。 ・この店にはだいたい10000種類の品物が売られているんだ。 ■スーパーマーケットSを見学し、気付いたことを発表する。 3年2組のみんなは、スーパーマーケットSでどんなことを見つけたり聞いたりしたのだろう。 ・いろいろな人がはたらいっているのを見たよ。 ・売り場ではない、店の人しか入れないところをバックヤードといって、食べ物を切ったり、冷やしたりしているんだな。 ・品物のならべ方はくふうされているのを見たよ。 スーパーマーケットSでは、売り場に10000種類の品物が売られている。お店は、売り場ではたらく店員さんとバックヤードではたらく店員さんなど多くの人がきょう力して品物を売っているんだな。	□見学メモ	見学メモやノートの記述内容から、「スーパーマーケットでは、売り場やバックヤードで多くの人をはたらいっていることを理解しているか」を評価する。 【知-①】●
7 品物はどこから	品物の産地を調べる活動を通して、スーパーマーケットは、品物を通じて他地域や外国と関わっているだけでなく、地元の品物も取り扱っていることを理解することができる。	■品物の値札、シール、段ボール、パッケージ、広告などをから、課題をつくる。 スーパーマーケットSで売られている品物は、どこからやって来るのだろう。 ■予想を立てる。 ・外国から届くものや日本各地から届く品物がある。 ・ほうれん草みたいに高山でできたものも売られていると思うよ。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・ブロッコリーは長野県、スイカは愛知県からやって来ている。 ・タコはモロッコ。エビはエクアドル。 ・飛騨のナスやほうれん草、飛騨牛など地元のものも売っている。 スーパーマーケットSでは、日本のいろいろな場所からだけでなく自分の知らない国からも品物が届いている。また、飛騨で取れた品物も売っていて、地元の品物を買うためにスーパーマーケットSに来るお客さんがいることも分かった。	□品物の値札、シール、段ボール、パッケージ、広告 □見学メモ	ノートの記述内容や発言から、品物の産地を調べる活動を通して、「スーパーマーケットは、日本、外国そして地元の高山といたった様々な地域から品物を取り寄せていることを理解しているか」を評価する。 【知-①】●

8 スーパーマーケットではたらく人	スーパーマーケットで働く人を調べる活動を通して、お客さんの願いを叶え、夫て働いていることを理解することができる。	■スーパーマーケットの店員さんの働いている様子から、課題をつくる。 スーパーマーケットSではたらいっている人は、どんな仕事をしているのだろう。 ■予想をする。 ・品物をならべている。 ・魚やお肉をさばいている。 ・レジをしている。 ・そうざいをつくっている。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 〈売り場で働く人〉 ・バックヤードから品物を持ってきてならべている。 ・レジ打ちをしている。 〈バックヤードで働く人〉 ・品物がどれだけ売れたかをコンピューターで調べ、必要な数だけ注文している。 ・お客さんが必要な量だけ買うことができるように、様々な大きさに野菜や魚、肉をカットしたり、そうざいをつくったりしている。 ■どうしてそのような仕事をしているのかを、お客さんの願いと関わらせながら考える。 ・お客さんがほしいものをいつでも買うことができるようにするために、コンピューターで管理しながら注文している。 ・1人ぐらしならたくさんの量はいらないけど、大家族ならたくさんの量があるとうれしい。それぞれのお客さんの願いにこたえるために、一つの品物にもいろいろな大きさがあるんだと思う。 スーパーマーケットSには、品物をならべる人、品物をカットしてパックにつめる人、レジをする人、コンピューターで品物をかんりする人など様々な人がはたらいっており、それぞれの人がお客さんの願いにこたえるためにくふうしてはたらいっている。	□見学メモ □必殺ワザシート □働いている人の様子をまとめた表（写真など）	ノートの記述内容や発言から、スーパーマーケットで働く人を調べる活動を通して「店員さんはお客さんの願いをかなえるために、くふうして働いていることを理解しているか」を評価する。 【知 - ①】 ●
------------------------------	---	--	--	--

q スーパーマーケットが行っているくふう	品物の並ぶ場所、場を動かして、スーパーマーケットは、お客さんが快適に買い物をしやすくなるように工夫している。	■売り場の写真を見て気づいたことを話し合い、課題をつくる。 スーパーマーケットSの売り場には、どんなくふうがあるのだろう。 ■予想を立てる。 ・重い品物はレジから近いところにある。 ・野菜コーナーが入口から入ってすぐのところにある。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・子ども向けの品物は一番ひくい場所にあらわれている。 ・それぞれの品物にポップをおいて、目立つようにしている。 ・天井にはかんばんがつりさがっていて、どこに何が売っているか分かりやすい。 ・牛にゆうや豆ふでも種類だけじゃなくて、何種類もあるからお客様の願いにあった品物を売っている。 ・地元の品物がアピールされているから、地元のものを買ってみたくなるな。 ・社長さんがより楽しくよりかいてきな売り場にしたいと言っているけど、スーパーマーケット S の売り場はその言葉通りになっている。 スーパーマーケットSの売り場では、お客さんが楽しく不便なく買い物ができるようにするために、重い物はレジの近くにおいたり、きせつの商品や新商品を目立たせるポップをおいたりするくふうをしている。また、豆ふやおかし、牛にゆうなどは、地元の品物をたくさんならべるなど、地元のスーパーマーケットとしてのくふうもしている。	□売り場の写真（お菓子コーナーの様子、お米コーナーの様子、様々なポップの写真など） □スーパーマーケット S の社長の話 □見学メモ	ノートの記入内容や発言から、売り場の工夫活通を通して、「スーパーマーケットがお客さんに快適に買い物してもらうために工夫していること」を理解しているかを評価する。 【知-①】●
-----------------------------	---	---	---	--

ー ○ ー ー ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト が 行 っ て い る く ふ う	スーパーマーケットSが行っている移動販売のサービスを調べ活動を通して、移動販売Tは、週に一回お客さんの近くまで来て、食料品、飲料水、日用品などを売っていることを理解できる。	■移動販売Tの写真から、この車ではどんなことをしているのか話し合い、課題をつくる。 スーパーマーケットSでは、いどうはん売Tを使ってどんなことを行っているのだろう。 ■予想を立てる。 ・車でいろいろな場所へ行き、品物を売っているのではないかな。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・Tは、お年よりを中心に品物を売っている。 ・決まった曜日に決まった場所に来て、品物を売っている。 ・丹生川や清見、国府といった場所へ行って品物を売っている。 ■Tで販売するHさんのお話を聞いて、考えを深める。 ・Tの中は、小さなスーパーマーケットになっている。食べ物や飲み物、日用品からお花や雑貨もおいてある。 ・お客さんの好きそうなものをトラックに積み込んでいる。 スーパーマーケットSが行っているいどうはん売Tは、トラックに品物をつんでさまざまな場所へ行き、その場所で品物を売るサービスということが分かった。Tの運転手のHさんは、お客さんの好きそうな品物をえらびトラックにつんだり、お客さんの家まで品物を運んだりするくふうをしたりして、お客さんが気持ちよく買い物できるためにがんばっていることを学んだ。	□Tについて □T見学メモ □Tを利用する人の話 □Tを運転するHさんの話 □移動販売T（実物）	ノートの記述内容や発言から、移動販売Tのサービスを調べ活動を通して、「Tは、お客さんの家の近くまでやって、スーパーマーケットの品物を売っているサービスだということを理解しているか」を評価する。 【知-①】●
--	---	--	---	--

12 スーパーマーケットが移動販売を行うわけ（本時）	スーパーマーケットSが、Tと協力して移動販売をしている理由を追究する活動を通して、スーパーマーケットSはTと協力して品物を販売することで、少しでも売り上げを高めようとしているだけでなく、お店に来るこい客さんが難しいお客さんが自分を目で見て品物を見たりサービスを行うことで、一人でも多くの人で買物できる工夫をしていることを考え、表現することができる。	■スーパーマーケットSが移動販売Tを使い、店の外で品物を売っているという事実から課題化する。 ・店にお客さんが来るのに、どうして店の外で車を使って品物を売っているのかな。 スーパーマーケットSは、わざわざTでいどうはん売もしているのはどうしてだろう。 ■予想を立てる。 ・買い物にこまっている人にも、品物を売りたいから。 ・お年よりのため。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・Tのお客さんには、足が不自由な人だったり、車がなかったりしてお店に行くことがむずかしい人が多い。 ・家から店が遠いお客さんもいて、Tがないと買い物にこまる人もいるよ。 ・Tの買い物だと、自分で品物を見て、さわって会話しながら買い物できるな。 スーパーマーケットSは、いどうはん売Tで品物を売ること、スーパーマーケットに行くことがむずかしい人が、家の近くで品物を自分の目で見てさわり、はん売員の人と話しながら買物ができることで、一人でも多くの人たちが楽しく買物できるようにしている。スーパーマーケットSは地元の人たちとのふれあいを大切にしているスーパーマーケットなんだな。	☐ 必殺ワザシート ☐ とくし丸見学メモ ☐ とくし丸を利用する人の話 ☐ 高山市にあるスーパーマーケットの地図 ☐ とくし丸の販売経路 ☐ スーパーマーケットSの社長の話 ☐ スーパーマーケットSのFさんの話	ノートの記述内容や発言から、「スーパーマーケットSがTで移動販売をすることで、店に来ることがむずかしいお客さんでも、買い物を楽しんでもらえるよう工夫をしていることを考え表現しているか」を評価する。 【思-①】○● 【思-②】○●
13 お客さんの願いをかなえるために	スーパーマーケットが品物を売ること以外にサービスを行う理由を考えた活動を通して、スーパーマーケットは様々なイベントを行うことで、お客さんにも店に来い売り上げを高めようとしていいることを考え表現ができた。	■スーパーマーケットが行っているビンゴ大会などの様子から、課題をつくる。 スーパーマーケットSは、どうして品物を売ること以外のサービスをしているのだろう。 ■予想を立てる。 ・お客さんに楽しんでほしいから。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・お客さんがスーパーマーケットSに行きたいと思えるように色々なサービスをしている。 ・お客さんがスーパーマーケットSに行きたいと思えるサービスをすることが、売り上げアップにつながる。 ・地いきによりそったスーパーなんだな。 スーパーマーケットSは、お客さんが店に来たいと思えるようなサービスを行うことで、店の売り上げを高めようとしている。品物を売るだけでなく、お客さんとのコミュニケーションを大事にするSは地元の人によりそった店なんだな。	☐ 必殺ワザシート ☐ 見学メモ ☐ スーパーマーケットSの社長の話 ☐ リサイクルコーナー ☐ ビンゴ大会や夏祭りのパンフレット ☐ 父の日の塗り絵の様子 ☐ お客さんの願い	ノートの記述内容や発言から、「スーパーマーケットSは、売り上げを高めるための工夫の一つとして、品物を売ること以外にサービスを行っているということを考え表現できているか」を評価する。 【思-①】○● 【思-②】○●

ー4・ー5 スーパーマーケット新聞をつくらう	これまでの学習で調べたことをもとに、スーパーマーケットで働く人は、多くのお客さんに買い物をしてもらうために、どのような工夫をしているかを聞き、理解し、新聞にまとめること	■学習問題や学習計画を確認し、課題をつくる。 調べたことを使って、スーパーマーケットS新聞をつくらう。 ■これまでの資料や、見学メモ、必殺ワザシートなどを使って、新聞をつくる。 スーパーマーケットSではたらく人たちは、お客さんの願いをかなえるために、売り場やバックヤードをくふうしている。また、いどうはん売Tで、お店に来ることができないお客さんにも買い物が家の前ができる取り組みを行っている。スーパーマーケットSは、地いきの人によりそって、工夫や努力をしていることが分かった。	□これまで使用した資料	新聞の記述内容から、「スーパーマーケットではたらくお客さんの願いをかなえたりを売上げを高めたりするために行っている努力や工夫を新聞に適切にまとめているか」を評価する。 【知-②】○ 新聞の記述内容から、「スーパーマーケットSの人たちの仕事の工夫や努力を自分たちの生活と関連付けて表現しているか」を評価する。 【思-②】○
-----------------------------------	---	--	--------------------	--

■ 教 科：社会科	■ 単 元 名：店ではたらく人 (12/15)																
■ 授業者：天野 順幾	■ 授業学級：3年2組 (北舎3階 3年2組教室)																
■ 本時の「ねらい」 スーパーマーケットSが、Tで移動販売をしている理由を追究する活動を行い、店側の願いと消費者側の願いに着目して考えると、スーパーマーケットSはお店に来ることが難しいお客さんが、自分の目で品物を見たり触ったり、人とふれあったりしながら買い物ができるサービスを行うことで、一人でも多くの人に買い物をしてもらえるよう工夫しているということを考えることができる。【思考・判断・表現】																	
■ 本時に働かせる見方・考え方 【見方・考え方】〈位置や広がり〉どこで品物を売っているか(かかわり)客の願いとスーパーマーケットSとTの工夫(比べる、分ける、まとめる、関連付ける)人々の日常生活と関連付ける																	
<table border="1"> <tr> <th data-bbox="114 419 190 459">時間</th><th data-bbox="190 419 1451 459">● 学習活動 ・ 児童の姿</th></tr> <tr> <td data-bbox="114 459 190 627">0 課題化 5 個人追究</td><td data-bbox="190 459 1451 627"> ● スーパーマーケットSが移動販売Tで市内各地に車を使って品物を売っているという事実から、本時の学習問題を立てる。 ・ お店だけで品物を売ればいいのに、どうしてどうはん売もしているのかな。 スーパーマーケットSは、わざわざTでいどうはん売もしているのはどうしてだろう。 ● 予想を立てる。 ・ お年よりのため。 ・ スーパーマーケットSに来ることができない人にも、品物を買ってほしいから。 ● 追究する方法の見通しをもち、学習問題を追究する。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="114 627 190 978">13 小集団追究</td><td data-bbox="190 627 1451 978"> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="190 627 779 722">個人追究</th><th data-bbox="779 627 1451 722">小集団追究(対話)・全体追究</th></tr> <tr> <td data-bbox="190 722 779 978"> ● 以下の見方に着目して追究し、考えをもつ。 〈スーパーマーケットの願いに着目〉(かかわり) ・ お店に来ることができない人にも買い物をしてほしい。 ・ 品物をより多くの人に買ってほしい。 ・ 快適に楽しく買い物をしてほしい。 〈お客さんの願いに着目〉(かかわり) ・ 重い荷物を持って行き帰りするのがたいへん。 ・ 家の近くで買い物をしたい。 ・ 車がないから買い物に行くのがたいへんだ。 〈Tの良さ〉(位置や広がり)(かかわり) ・ 家の前で、品物を見て買い物ができる。 ・ 決まった日の決まった時間に来てくれる。 ・ 玄関の中まで、買った品物を運んでくれる。 </td><td data-bbox="779 722 1451 978"> ● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。 お客さん ・ 店が近くにない。 ・ 自分の目で見て選びたい。 ・ 重い荷物をもって行き帰りすることができない。 ふれあいを大切に 見て、さわってえらべる <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。 </td></tr> </table> </td></tr> </table> </td></tr> <tr> <td data-bbox="114 978 190 1265">28 全員で学び合う</td><td data-bbox="190 978 1451 1265"> 一人でも多くの人が買い物できる工夫 ● 深めの発問について考える。 「店に来ることがむずかしい人に品物を売るなら、インターネットで店の品物を売ればいいんじゃない。」 ● 学習問題に立ち返り、本時を通して高まった考えを振り返る。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="114 1265 190 1490">40 振り返り 45</td><td data-bbox="190 1265 1451 1490"> 【目指す子どもの姿(評価)】 はじめは、少しでも多くのお客さんに品物を買ってもらうためのくふうだと思っていたけれど、仲間と考えることで、それだけでなく、スーパーマーケットSは、Tときょう力していどうはん売をすることで、自分一人でスーパーマーケットに行くことがむずかしい人が、家の近くで品物を自分の目で見てさわったり、はん売員の人と話しながら買い物ができたりすることで、一人でも多くの人たちが楽しく買い物できるようにしている。スーパーマーケットSは地元の人たちとのふれあいを大切にしているスーパーマーケットなんだな。 </td></tr> </table>	時間	● 学習活動 ・ 児童の姿	0 課題化 5 個人追究	● スーパーマーケットSが移動販売Tで市内各地に車を使って品物を売っているという事実から、本時の学習問題を立てる。 ・ お店だけで品物を売ればいいのに、どうしてどうはん売もしているのかな。 スーパーマーケットSは、わざわざTでいどうはん売もしているのはどうしてだろう。 ● 予想を立てる。 ・ お年よりのため。 ・ スーパーマーケットSに来ることができない人にも、品物を買ってほしいから。 ● 追究する方法の見通しをもち、学習問題を追究する。	13 小集団追究	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="190 627 779 722">個人追究</th><th data-bbox="779 627 1451 722">小集団追究(対話)・全体追究</th></tr> <tr> <td data-bbox="190 722 779 978"> ● 以下の見方に着目して追究し、考えをもつ。 〈スーパーマーケットの願いに着目〉(かかわり) ・ お店に来ることができない人にも買い物をしてほしい。 ・ 品物をより多くの人に買ってほしい。 ・ 快適に楽しく買い物をしてほしい。 〈お客さんの願いに着目〉(かかわり) ・ 重い荷物を持って行き帰りするのがたいへん。 ・ 家の近くで買い物をしたい。 ・ 車がないから買い物に行くのがたいへんだ。 〈Tの良さ〉(位置や広がり)(かかわり) ・ 家の前で、品物を見て買い物ができる。 ・ 決まった日の決まった時間に来てくれる。 ・ 玄関の中まで、買った品物を運んでくれる。 </td><td data-bbox="779 722 1451 978"> ● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。 お客さん ・ 店が近くにない。 ・ 自分の目で見て選びたい。 ・ 重い荷物をもって行き帰りすることができない。 ふれあいを大切に 見て、さわってえらべる <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。 </td></tr> </table> </td></tr> </table>	個人追究	小集団追究(対話)・全体追究	● 以下の見方に着目して追究し、考えをもつ。 〈スーパーマーケットの願いに着目〉(かかわり) ・ お店に来ることができない人にも買い物をしてほしい。 ・ 品物をより多くの人に買ってほしい。 ・ 快適に楽しく買い物をしてほしい。 〈お客さんの願いに着目〉(かかわり) ・ 重い荷物を持って行き帰りするのがたいへん。 ・ 家の近くで買い物をしたい。 ・ 車がないから買い物に行くのがたいへんだ。 〈Tの良さ〉(位置や広がり)(かかわり) ・ 家の前で、品物を見て買い物ができる。 ・ 決まった日の決まった時間に来てくれる。 ・ 玄関の中まで、買った品物を運んでくれる。	● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。 お客さん ・ 店が近くにない。 ・ 自分の目で見て選びたい。 ・ 重い荷物をもって行き帰りすることができない。 ふれあいを大切に 見て、さわってえらべる <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。 </td></tr> </table>	スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。	移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。	28 全員で学び合う	一人でも多くの人が買い物できる工夫 ● 深めの発問について考える。 「店に来ることがむずかしい人に品物を売るなら、インターネットで店の品物を売ればいいんじゃない。」 ● 学習問題に立ち返り、本時を通して高まった考えを振り返る。	40 振り返り 45	【目指す子どもの姿(評価)】 はじめは、少しでも多くのお客さんに品物を買ってもらうためのくふうだと思っていたけれど、仲間と考えることで、それだけでなく、スーパーマーケットSは、Tときょう力していどうはん売をすることで、自分一人でスーパーマーケットに行くことがむずかしい人が、家の近くで品物を自分の目で見てさわったり、はん売員の人と話しながら買い物ができたりすることで、一人でも多くの人たちが楽しく買い物できるようにしている。スーパーマーケットSは地元の人たちとのふれあいを大切にしているスーパーマーケットなんだな。	「ねらい」にせまるための手立て ◇研究内容1:「個別最適な学び」 【個の意識に応じて自由に追究方法を選択できるようにする。】 ・ 複数の資料を関連付けて、考えている児童を価値づける。 ・ 移動販売の運転手にインタビューして聞いたことをまとめた見学メモを見返すように指導する。 ・ 必殺ワザシートを活用し、与えられた資料だけでなく、自ら資料を探すことで、単元の学習問題に応じた資料に沿った学びを実現することができるようにする。 ◇研究内容2:「協働的な学び」 【対話の視点を示し、他者と関わることで自分の考えに自信をもったり、よりよい考えに変えたりできるようにする。】 ・ 対話の最中や授業の終末で、よりよい考えを生み出した姿を根拠とともに価値付け広める。 【対話の視点】「自分の考えをよりよくしよう。」 板書計画 
時間	● 学習活動 ・ 児童の姿																
0 課題化 5 個人追究	● スーパーマーケットSが移動販売Tで市内各地に車を使って品物を売っているという事実から、本時の学習問題を立てる。 ・ お店だけで品物を売ればいいのに、どうしてどうはん売もしているのかな。 スーパーマーケットSは、わざわざTでいどうはん売もしているのはどうしてだろう。 ● 予想を立てる。 ・ お年よりのため。 ・ スーパーマーケットSに来ることができない人にも、品物を買ってほしいから。 ● 追究する方法の見通しをもち、学習問題を追究する。																
13 小集団追究	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="190 627 779 722">個人追究</th><th data-bbox="779 627 1451 722">小集団追究(対話)・全体追究</th></tr> <tr> <td data-bbox="190 722 779 978"> ● 以下の見方に着目して追究し、考えをもつ。 〈スーパーマーケットの願いに着目〉(かかわり) ・ お店に来ることができない人にも買い物をしてほしい。 ・ 品物をより多くの人に買ってほしい。 ・ 快適に楽しく買い物をしてほしい。 〈お客さんの願いに着目〉(かかわり) ・ 重い荷物を持って行き帰りするのがたいへん。 ・ 家の近くで買い物をしたい。 ・ 車がないから買い物に行くのがたいへんだ。 〈Tの良さ〉(位置や広がり)(かかわり) ・ 家の前で、品物を見て買い物ができる。 ・ 決まった日の決まった時間に来てくれる。 ・ 玄関の中まで、買った品物を運んでくれる。 </td><td data-bbox="779 722 1451 978"> ● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。 お客さん ・ 店が近くにない。 ・ 自分の目で見て選びたい。 ・ 重い荷物をもって行き帰りすることができない。 ふれあいを大切に 見て、さわってえらべる <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。 </td></tr> </table> </td></tr> </table>	個人追究	小集団追究(対話)・全体追究	● 以下の見方に着目して追究し、考えをもつ。 〈スーパーマーケットの願いに着目〉(かかわり) ・ お店に来ることができない人にも買い物をしてほしい。 ・ 品物をより多くの人に買ってほしい。 ・ 快適に楽しく買い物をしてほしい。 〈お客さんの願いに着目〉(かかわり) ・ 重い荷物を持って行き帰りするのがたいへん。 ・ 家の近くで買い物をしたい。 ・ 車がないから買い物に行くのがたいへんだ。 〈Tの良さ〉(位置や広がり)(かかわり) ・ 家の前で、品物を見て買い物ができる。 ・ 決まった日の決まった時間に来てくれる。 ・ 玄関の中まで、買った品物を運んでくれる。	● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。 お客さん ・ 店が近くにない。 ・ 自分の目で見て選びたい。 ・ 重い荷物をもって行き帰りすることができない。 ふれあいを大切に 見て、さわってえらべる <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。 </td></tr> </table>	スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。	移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。										
個人追究	小集団追究(対話)・全体追究																
● 以下の見方に着目して追究し、考えをもつ。 〈スーパーマーケットの願いに着目〉(かかわり) ・ お店に来ることができない人にも買い物をしてほしい。 ・ 品物をより多くの人に買ってほしい。 ・ 快適に楽しく買い物をしてほしい。 〈お客さんの願いに着目〉(かかわり) ・ 重い荷物を持って行き帰りするのがたいへん。 ・ 家の近くで買い物をしたい。 ・ 車がないから買い物に行くのがたいへんだ。 〈Tの良さ〉(位置や広がり)(かかわり) ・ 家の前で、品物を見て買い物ができる。 ・ 決まった日の決まった時間に来てくれる。 ・ 玄関の中まで、買った品物を運んでくれる。	● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。 お客さん ・ 店が近くにない。 ・ 自分の目で見て選びたい。 ・ 重い荷物をもって行き帰りすることができない。 ふれあいを大切に 見て、さわってえらべる <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。 </td></tr> </table>	スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。	移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。														
スーパーS ・ 店に来ることができない人に品物を売りたい。 ・ より多くの人に買い物をしてほしい。 ・ 見て触って買い物してほしい。	移動販売T ・ 家の前で買い物ができる ・ 自分の目で見て選べる。 ・ 玄関の中まで荷物を運んでくれる。																
28 全員で学び合う	一人でも多くの人が買い物できる工夫 ● 深めの発問について考える。 「店に来ることがむずかしい人に品物を売るなら、インターネットで店の品物を売ればいいんじゃない。」 ● 学習問題に立ち返り、本時を通して高まった考えを振り返る。																
40 振り返り 45	【目指す子どもの姿(評価)】 はじめは、少しでも多くのお客さんに品物を買ってもらうためのくふうだと思っていたけれど、仲間と考えることで、それだけでなく、スーパーマーケットSは、Tときょう力していどうはん売をすることで、自分一人でスーパーマーケットに行くことがむずかしい人が、家の近くで品物を自分の目で見てさわったり、はん売員の人と話しながら買い物ができたりすることで、一人でも多くの人たちが楽しく買い物できるようにしている。スーパーマーケットSは地元の人たちとのふれあいを大切にしているスーパーマーケットなんだな。																

指導と評価の計画

単元名

第5学年 米づくりのさかんな地域

内容のまとめ

第5学年(2) 我が国の農業や水産業における食料生産

1 単元の目標

我が国の米の生産について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図帳や各種資料を使ってまとめることで、米づくりに関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、我が国の米づくりに関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、国民生活を支える農業の発展について考えようとする態度を養う。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図帳や各種資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、米づくりに関わる人々の工夫や努力を理解している。	①米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見出し、米づくりに関わる人々の工夫や努力について考えを表現している。	①我が国の米の生産の様子について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり、見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを新聞にまとめ、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	②米づくりの仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて米づくりに関わる人々の働きを多角的に考え、適切に表現している。	②学習したことを基に消費者や生産者の立場から、これからの農業の発展について考えようとしている。

3 指導と評価の計画(全11時間) ○:記録に残す評価 ●:指導に生かす評価

時間	ねらい	■主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1 日本の米づくり	消費者が求める米が1年中購入できることについて話し合うことを通して、日本の米づくりについて考えることができる。	■自分たちの食生活と米とのつながりに気づき、本時の学習問題をつかむ。 米は、日本のどこでつくられているのだろう。 ■資料から調べる。 ・東北地方が多い。 ・稲刈りの時期が沖縄は早い。 ・田の面積が広い所は米の収穫量も多い。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・米の消費量が減っているが、自分の家ではよく食べている。 ・手作業で田植えを行っているところもあれば、機械で田植えを行っているところもある。 米は、いろいろな地域で作られている。その地域の地形や気候に合わせて生産されていることがわかった。特に、東北地方や新潟県、北海道の収穫量が多い。	□米の生産がさかんな地域 □地方別の米の収穫量 □全国の田植え、稲刈りの時期の例 □米の消費量の変化	ノートの記述内容や発言内容から、「疑問や調べてみたいことを見つけ、書き出すことができるか」を評価する。 【態—①】○●
2 庄内平野の地形と気候の特色	庄内平野の気候や地形を調べることを通して、米の生産地と自然条件との関わりを理解することができる。	■庄内平野の航空写真を見て、地形や気候についてわかったことを発表し合う。 なぜ庄内平野では、米づくりがさかんなのだろう。 ■予想を立てる。 ・米づくりにあった気候だから。 ・土地が平地だから。 ・水が豊富だから。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・季節風が雨でぬれた葉を乾かして、稲の病気を防いでいるから。 ・夏の昼と夜の気温差があり、春から秋にかけての日照時間が長いから。 庄内平野では、自然条件がそろっているから米づくりがさかんだということがわかった。	□空から見た庄内平野 □庄内平野の土地利用図 □酒田市と宮古市の気候	ノートや学習カードへの記述から、「庄内平野の気候や地形を調べて、米の生産地としての利点を理解しているか」を評価する。 【知—①】●

3 庄内平野の米づくり	庄内平野で米づくりに関わる人々の工夫や努力について学習問題をつくり、予想や学習計画を立てることができる。	■前時を振り返る。 ・庄内平野では、夏と夜の気温差が稲を大きく成長させる。 ・最上川など豊かな水があるから米が育ちやすい。 庄内平野の米づくりについて話し合い、学習問題をつくろう。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・田んぼがきれいに整っている。 ・田んぼが多い。 ・10aあたりの米の生産量が多い。 ■調べたことから疑問をもち、学習問題をつくる。 ・おいしいお米を作るために、苗や土、肥料にこだわっているのかな。 ・古くから米づくりがさかんで今も守られている。 ・新しい技術で気候に合う米づくりをしているのかな。 学習問題 庄内平野で米づくりにかかわる人々はどのように米を生産しているのだろう。	□水田の大きさ □耕地のうちで水田が占める割合 □10aあたりの米の生産量が多い都道府県	ノートや発言内容から「庄内平野の米づくりについて予想し、調べる見通しをもつことができるか」を評価する。 【態一①】●
4 Tさんの米づくり	農家の人が米づくりをどのように進めているか調べて話し合うことを通して、米づくりが1年を通して計画的に行われていることや、稲の生長に合わせて工夫や努力をかさねていることを理解することができる。	■Tさんの米づくりの1年の様子を見て、本時の見通しをもつ。 Tさんはどのように米づくりを行っているのだろう。 ■予想を立てる。 ・多くの人数で作業をしている。 ・機械をたくさん使っている。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・作業時間を短縮する工夫がされている。 ・天気や時期に合わせて稲の管理をしている。 Tさんは種もみを選ぶところから出荷前のもみすりまで1年を通して様々な工夫や努力をしていることがわかった。	□Tさんの農作業ごよみ □カントリーエレベーター □米づくりの写真	ノートや発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、年間を通しての米づくりの仕事について理解しているか」を評価する。 【知一①】○●

5 米づくりの仕事のくふう	庄内平野の米づくり農家が、生産性を高めるためにどのようなことをしてきたか調べることを通して、耕地整理や機械化などの工夫をしてきたことを理解することができる。	■米づくりの労働時間の変化のグラフを見て、本時の見通しをもつ。 なぜ米づくりの労働時間が減ったのだろう。 ■予想を立てる。 ・機械がたくさん取り入れられているのではないか。 ・昔より作業が楽になったのではないか。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・いろいろな機械を使って効率よく作業ができるようになった。 ・少ない人数で広い田んぼを管理することができている。 米づくり農家の人々は、機械化を進め、生産性を高める工夫や努力を進めてきたから労働時間が減ったことが分かった。	□労働時間の変化のグラフ □用水路と排水路のしくみ □耕地整理の写真 □米づくりの移り変わり	ノートや発言内容から「米づくり農家が、生産性を高めるためにどのようなことをしてきたかを調べ、農家の方の工夫や努力について理解しているか」を評価する。 【知-①】○●
6 庄内平野の米づくりを支える人々①	農業協同組合(JA)や水田農業研究所などは、安全でおいしい米づくりのために、米農家を支援していることを理解することができる。	■JAの職員の写真を見て、米づくりには農家以外の人も関わっている事実から学習問題につなげ、本時の見通しをもつ。 農家の人ではないのに、なぜ米づくりに関わっているだろう。 ■予想を立てる。 ・専門的な知識をもっているから。 ・育ちやすい稲の研究をしている。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・JAの人は農家の人をお金の面や技術の面で支えている。 ・水田農業研究所の人は10年以上かけて新しい品種を作っている。 農業協同組合や水田農業研究所などの人たちが、安全でおいしい米づくりのために農家を支援していることが分かった。様々な人が関わって米づくりが成り立っているんだな。	□JAの職員、水田農業研究所の方の写真 □JAによる米の宣伝 □「つや姫」ができるまで □水田農業研究所について □JAの仕事について	ノートや発言内容から「JAや水田農業研究所の働きについて調べ、農家を支えていることを理解しているか」を評価する。 【知-①】○●

7 庄内平野の米づくりを支える人々②(本時)	山形県の「つや姫」という品種を限られた農家の人が限られた量しか作ることができないという事実を知り、その理由を追究する活動を通して、今よりも安全性が高く、おいしく高品質なお米を作るために制限していることに気づき、農家、県、JA、水田農業研究所それぞれの工夫や努力について考え、表現することができる。	■令和5年に作り始めた「つや姫」が「つや姫」として売れなかったという事実から、本時の学習問題を立てる。 「つや姫」として出荷することができなかったのに、なぜTさんは「つや姫」を作り続けているのだろう。 ■予想を立てる。 ・味にこだわっているからあきらめずに作った。 ・高い値段で売れるからかな。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・山形県が米づくりに力を入れていて、JAや県、地域の農家の人たちが「つや姫」の生産者を支えているんだな。 ・消費者に喜んでほしいと思って頑張っているんだな。 はじめは、高い値段で売れると思っていたけれど、仲間の考えを聞いて、それだけではなく、「つや姫」を作るときに手間がかかっても、日本を代表する米どころとして高品質なお米を作る技術を習得したい、そして何よりもおいしく「つや姫」を食べる消費者の顔を見たいという思いで作っていることが分かった。Tさん一人ではなく、近所の農家や山形県、JA が支えて同じ思いで作っているからこそ作り続けることができるんだな。	□既習資料 □スマートつや姫 □つや姫栽培の申請について □つや姫がとれる地域 □つや姫を栽培している人の数と山形県全体の農業で働く人の数	ノートや発言内容から「Tさんがつや姫を作り続ける理由を調べ、農家だけではなく、JA、山形県、近所の農家、水田農業研究所が支えていることを考え、表現しているか」を評価する。 【思-①】○●
8 おいしい米を全国に	生産された米は農業協同組合(JA)がまとめ、日本全国の消費者に届けていることや、米の値段には様々な費用がかかっていること、米を直接販売する方法を選択する農家もあることを理解することができる。	■庄内平野の米が売っている売り場の写真を見て、本時の見通しをもつ。 庄内平野のお米は、どのように消費者に届けられるのだろう。 ■予想を立てる。 ・誰かが集めて、出荷している。 ・ネット販売をしている。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・JA が、まとめて計画的に出荷することで作業の効率が高まる。 ・農家と消費者が直接やり取りをして販売する方法もある。 生産された米は、JA がまとめ、日本全国の消費者に届けられている。わたしたちの手元に届くまでにはたくさんの人たちの働きがあることがわかった。また、消費者が直接生産者から米を買うことができることがわかった。	□カントリーエレベーター □庄内平野の米が全国に届くまで □米づくりにかかる費用 □米ぶくろの表示	ノートや発言内容から「生産地と消費地を結ぶ輸送の働きや米づくりにかかる費用について理解しているか」を評価する。 【知-①】○

9 米づくり農家のかかえる課題と新しい取り組み	農家の抱える課題をグラフ資料や写真から読み取り、その解決のために庄内平野の農家の人々が行っている新しい取り組みを知り、これからの日本の米づくりについて理解することができる。	■現在の米農家の課題を考え、本時の見通しをもつ。 これからの米づくりのために農家の人はどういう取り組みを行っているのだろう。 ■予想を立てる。 ・機械をたくさん取り入れる。 ・農業の魅力を発信していく。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・米づくりをする人が増えるように農業の魅力をインターネットを使って発信する。 ・AIやドローンを使ったスマート農業を進める。 農家の人々は、米の消費量減少や農業で働く人の減少などの課題をかかえているが、その課題を解決するために、農作業の共同化や農家さんによる小学校での出前授業などを行っていることがわかった。	□米の生産量と消費量の変化 □農業で働く人数の変化 □農作業の共同化 □環境にやさしい肥料づくり	ノートや発言内容から「庄内平野の農家の人々が行っている新しい取り組みを知り、これからの日本の米づくりについて理解することができるか」を評価する。 【知—①】○●
10 こだわりの米づくり	W農園は豊作を願っているのに、収量を抑えている理由を考えるを通して、量だけではなく食味向上を考えてあえて収量を抑えていることについて考え、表現することができる。	■W農園（高山市）でとれるはずのお米の量と実際にとる量について知る。 豊作を願っているのに、なぜ収穫する量をおさえているのだろう。 ■予想を立てる。 ・収穫するのが大変だから。 ・おいしさに影響するから。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・環境のことも考えて作っている。 ・よりおいしいお米になるようにくふうしている。 はじめは、お米をたくさんとれることが大切だと思っていたけど、W農園ではおいしさや作り方にこだわって大切に育てていることがわかった。	□W農園の方の話 □作業の様子	ノートや発言内容から「W農園が味にこだわって米づくりを行っていることについて考え、表現しているか」を評価する。 【思—①】○

――新聞にまとめる	これまでの学習を整理し話し合うことを通して、日本の農業では、自然条件を生かしながら、生産や輸送などに関わる人々が良質な食料を消費地に届ける工夫や努力をしていることを理解し、自分の考えを表現し、まとめることができる。	■これまで学習したことを振り返り、新聞にまとめる。 米づくりに関わる人々の工夫や努力についてまとめよう。 ■まとめた作品をもとに、これからの米づくりについて考えたことを話し合う。 庄内平野で米の生産にかかわる人々は、自然条件を生かしたり、生産の工程や輸送方法を工夫したりして、安全でおいしい米を消費者に届けるために努力していることがわかった。また、庄内平野だけではなくおいしいお米を作るためにこだわって工夫や努力をし続けている農家が高山にもあることがわかった。これからはもっと味わって食べていきたい。	☐れんさんがまとめた新聞 ☐既習資料	新聞や発言内容から、「米づくりに関わる人々の工夫や努力、農業の抱える課題について消費者や生産者などの立場から多角的に考えているか」を評価する。 【態―②】○● 新聞や発言内容から、「米づくりに関わる人々の工夫や努力、農業の抱える課題について理解しているか」を評価する。 【知―②】○●
------------------	--	--	---	--

■ 教科：社会科	■ 単元名：米づくりのさかんな地域 (7/11)
■ 授業者：西岡 藍子	■ 授業学級：5年2組 (北舎4階 5年2組教室)

■ 本時の「ねらい」 うまく作ることができなかった「つや姫」をあきらめずに作り続けようとしたTさんの米づくりを追究する活動を通して、農家と県、JAの関係に着目し、より安全性の高い、高品質な「つや姫」を作り続けていこうとするTさんの思いに気づき、県、JA、水田農業研究所それぞれの立場で農家を支えていることについて考えることができる。 【思考・判断・表現】
■ 本時に働かせる見方・考え方 【見方・考え方】 <位置や広がり>どこで育て、田んぼがどのように広がっているのか<時間>労働時間の比較<かかわり>JA、県との協力体制<比べる、分類する、総合する、関連づける>漁業と比べる

時間	● 学習活動 ・ 児童の姿	「ねらい」にせまるための手立て
0 課題化	● 令和5年に作り始めた「つや姫」が「つや姫」として売れなかったという事実から、学習問題を立てる。 ・ 大変な思いをして作ったのに。 「つや姫」として出荷することができなかったのに、なぜTさんは「つや姫」を作り続けているのだろう。	◇研究内容1:「個別最適な学び」 【資料を選択し、追究する力をつける指導の工夫】 ・ 着目した見方に応じて、資料(教科書、資料集、地図帳など)を選択したり、相互に関連付けたりして追究することができるようにする。 ・ 考えがもてない児童には「どの資料から調べようか。」と問いかけ、個別支援を行う。
5 個人追究	● 予想を立てる。 ・ 他のお米よりも味にこだわっているからあきらめずに作ったのではないかな。 ・ 高い値段で売れるからかな。 ● 追究する方法の見通しをもち、学習問題を追究する。	◇研究内容2:「協働的な学び」 【仲間との対話を通して、よりよく問題を追究する指導の工夫】 ・ 仲間の考えにふれることで、学習問題に対する自分の考えをよりよくすることができるよう、以下の対話の視点を示す。 【対話の視点】 「自分の考えをよりよくしよう。」 ・ 消費者、生産者や県、JAの職員、水田農業研究所の方の言葉に触れることで、消費者や生産者の立場などから多角的に考え、自分の考えを確かなものにできるようにする。
13 小集団追究	個人追究 ● 以下の見方に着目して追究し、自分の考えをもつ。 <農家(Tさん)の取り組み>(かかわり) ・ おいしいお米を作りたい→丁寧な作業、管理 ・ 情報共有→農家同士で肥料のタイミングなどを情報共有 <県の取り組み>(かかわり) ・ スマート農業技術の支援→「スマートつや姫」 ・ 米のブランド化→山形の米を全国に広めたい <水田農業研究所の取り組み>(かかわり) ・ 品質のよいお米→一つの品種を完成させるのに10年以上かかる。 ・ 品種改良→暑さに強い品種や冷夏でも作れる品種 <JAの取り組み>(かかわり、関連付ける) ・ 営農指導→農家に寄り添ってアドバイス ・ 「農家」と「消費者」をつなぐかけ橋 → 情報を届ける、米づくりで使う物の販売、農家の作った米の販売 - 農家が出荷した米の販売 小集団追究(対話)・全体追究 ● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。	
28 全員で学び合う	● 深めの発問について考える。 県としての米づくりの事実から考える。 ● 学習問題に立ち返り、本時を通して高まった考えを振り返る。	
40 振り返り	【目指す子どもの姿(評価)】 はじめは、高い値段で売れると思っていたけれど、仲間の考えを聞いて、それだけではなく、「つや姫」を作るときに手間がかかっても、日本を代表する米どころとして高品質なお米を作る技術を習得したい、そして何よりもおいしく「つや姫」を食べる消費者の顔が見たいという思いで作っている。Tさん一人ではなく、近所の農家や山形県、JAが支えて同じ思いで作っているからこそ作り続けることができるんだな	板書計画
45		

指導と評価の計画

単元名

第6学年 世界に歩み出した日本

内容のまとめ

第6学年(2) 我が国の歴史上の主な事象

1 単元の目標

日清・日露戦争や条約改正の経過、科学の分野で優れた業績を上げた人物について調べ、これらを関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の様子を考え、適切に表現することを通して、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解することができるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などについて考え、表現している。	① 日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などについて、予想や学習問題を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。	②日清・日露戦争や条約改正の経過、科学の分野で優れた業績を上げた人物について調べ、これらを関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の様子を考え、適切に表現している。	

3 指導と評価の計画(全8時間)

○:記録に残す評価 ●:指導に生かす評価

時間	ねらい	■主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1 条約改正を目指して	江戸時代の終わりに条約により、国民の生活がどう変わったのかを話し合い、学習問題をつくる。	■ノルマントン号事件の風刺画を見て話し合い、不平等条約の存在に気付く。 日本が江戸時代の終わりに結んだ条約はどのようなものだったか話し合い、学習問題をつくろう。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・外国人が日本国内で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない。 ・関税自主権が認められていないから、輸入品にかかる税金を自由に決められない。 ■調べたことから疑問をもち、学習問題をつくる。 ・条約を改正するために必要なことは何だろう。 ・日本が近代化し、国として強くなることが大切なのではないのかな。 学習問題 日本が国内外で行った近代化への取り組みは、国内外にどのような変化をもたらしたのだろう。	□ノルマントン号事件の風刺画が □この時代の主な出来事 □領事裁判権と関税自主権 □鹿鳴館の舞踏会 □エルツルウ号のそうなる人々	ノートの記述内容や発言内容から、「江戸時代から明治時代にかけての日本を取り巻く世界の様子に着目して、学習問題を見出しているか」を評価する。 【思—①】● 活動の様子やノートの記述から「日本が世界に歩み出す中で行った取り組みと国内外的変化について学習問題をつくるか」を評価する。 【態—①】○●
2 発展していく日本	工場の様子や陸奥宗光について調べ、明治政府により条約改正の交渉に結びつけることができる。	■紡績工場の写真・年表を見て、気付いたことを話し合う。 この時代、日本はどのように国づくりを進め、世界に歩み出していったのだろう。 ■予想を立てる。 ・工場を増やしていった。 ・欧米に負けないように産業を発展させた。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・日本は、殖産興業に力を入れて近代化を進めていった。 ・日本は無理に欧米諸国の仲間に入ろうとしているが感じがする。欧米諸国はあまり歓迎していない。まだ欧米諸国は認めていない。 ・陸奥宗光は、条約改正のためイギリスと交渉し領事裁判権をなくすことに成功した。 ・まだ関税自主権は回復していない。 明治政府の殖産興業によって日本の産業が発展していく中で、陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した。しかし、まだ欧米諸国に認められたとは言えず、関税自主権を回復することはできていない。	□紡績工場 □盆地の中らに建てられた製糸工場 □日本の西の洋クラブへの仲間入りをえんが □陸奥宗光 □工場の発展 □主要な貿易品の推移	ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、明治政府の殖産興業政策による国づくりと陸奥宗光らによる条約改正交渉の進展と結び付けて理解しているか」を評価する。 【知—①】●

3 中国と戦う	絵図やグラフなどの資料を読み取り、清と日本との関係が変化したところを解説する。	■「朝鮮をめぐる、日本、ロシア、中国」の風刺画を見て、朝鮮をめぐる三国の関係を話し合う。 日清戦争によって、日本と世界の国々との関係は、どのように変わっていったのだろう。 ■予想を立てる。 ・朝鮮に勢力を伸ばしていった。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・日本は朝鮮や満州に勢力を伸ばしたかった。 ・日本が清に勝利し、多くの賠償金や植民地を獲得したことで、東アジアの主要国として認められた。 ・国民は、清に勝利したことで大きな自信を得ることができた。 ・ロシア、フランス、ドイツにより、植民地の一部を清に返させられた。 朝鮮半島や満州の支配をめぐる日清戦争が起こった。日本は、この戦争に勝利したことで東アジアの主要国として認められたが、ヨーロッパの国々に植民地の一部を返させられるということも起きた。	□朝鮮をめぐる、日本、ロシア、中国 □日清戦争の戦場 □清から得た賠償金と戦費 □日本軍とロシア軍の戦い □二つの戦争での死者	ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、日清戦争の様子や、日本が世界に与えた影響について理解しているか」を評価する。 【知—①】●
4 ロシアと戦う	絵図やグラフなどの資料を読み取り、露と日本との関係が変化したところを解説する。	■「ロシアに対する日本、イギリス、アメリカ」の風刺画を見て、各国の関係を話し合う。 日露戦争によって、日本と世界の国々との関係は、どのように変わっていったのだろう。 ■予想を立てる。 ・ロシアに勝利することで、さらに植民地を広げることができた。 ・欧米諸国に認められるようになった。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・日本は朝鮮や満州に勢力を伸ばしたかった。 ・ロシアに勝利したことで、日本は、欧米諸国に日本の力を認めさせることができた。 ・苦しい生活をさせられた国民は、日露戦争に勝利し、多くの賠償金や領土をもらうことができたことに喜んでいたが、実際にロシアと結ばれた条約は、国民の期待に応えられるものではなかった。 朝鮮半島や満州の支配をめぐる日露戦争が起こった。日本は、この戦争に勝利したことで欧米諸国に日本の力を認めさせることができた。しかし、この戦争でたくさんのお金を使い、多くの死者を出してしまった。日本国民は、増税などで苦しい生活をさせられた。ロシアと結んだ条約は、国民の期待に応えられるものではなかった。	□ロシアに対する日本、イギリス、アメリカ □日本軍とロシア軍の戦い □日露戦争の戦場 □二つの戦争での日本死者 □戦争への反対 □与謝野晶子	ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、日露戦争の様子や、日本が世界に与えた影響について理解しているか」を評価する。 【知—①】●

5 ポーツマス条約を結ぶ（本時）	小村寿太郎が、賠償金を取れないことが分かっているにもかかわらずロシアとポーツマス講和条約を結び、日露戦争を終わらせようとしていた理由を考え、活動を行い、当時の世界や日本の様子、小村寿太郎の願いや働きに着目することで、小村寿太郎は未来を見通し、今このタイミングで条約を結ぶことが日本の安全と地位を守ることに考えていたということを、考え表現することができる。	■国民が期待をもって、アメリカへ渡る小村寿太郎を送る様子を見て、話し合う。 国民から批判されると分かっていたのに、小村寿太郎がロシアと賠償金の取れない条約を結んだのはなぜだろう。 ■予想を立てる。 ・大国ロシアを相手にして、日本はもう戦うことができなかった。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・日露戦争で、多くの戦死者を出し、多くのお金を使ってしまった。 ・日本国内は、戦争による増税で苦しい生活を送っている。 ・家族が戦争へ行き、辛い思いをしている。 →日本はもう戦争をする力がない。 ・アメリカやフランスから戦争をやめるよう日本にせまっている。 →欧米諸国から認められなくなる。 ・小村寿太郎は、これ以上を戦争を続けたら、日本は経済的に破綻してしまうと考えていた。 ・小村寿太郎は、日本の安全と地位守るためには、今ここで条約を結ぶことが必要だと考えた。 ・今、条約を結ぶことが、戦争を終わらせ、日本の勝利につながり、領土を獲得できる上に、欧米諸国にも認められる。 最初は、日本はもう戦争を続けられないからだと思っていた。だけど、条約を結んだ理由を考えたときに、小村寿太郎は、未来を見通し、日本の安全と地位を守ることを第一に考えていたんだと分かった。日本の安全と地位を守るためには、条約を結び戦争を終わらせ、戦勝国とならなければならない。戦勝国となれば、少しでも領土をもらい、欧米諸国から認められるのだと考えが深まった。国民から批判の的となっても、小村寿太郎が、国のためにと決してブレない覚悟をもっていたんだな。	□小村寿太郎 □日本軍とロシア軍の戦い □日露戦争の戦場 □二つの戦死者 □小村寿太郎年表 □小村寿太郎とポーツマス条約 □ポーツマス条約で日本が獲得した植民地	ノートの記述内容や発言内容から、「当時の世界の様子や日本の立場、小村寿太郎の願いに着目して調べ、小村寿太郎がポーツマス条約を結んだ理由について考え表現しているか」を評価する。 【思—①】○●
-----------------------------	--	--	---	--

6 世界へ進出する日本	日本が朝鮮を植民地にしたことや、条約改正を果て欧米諸国と対等になったこと、医学などの分野の活躍を通して、日本の世界への進出と国際的地位の向上について理解することができる。	■写真や地図を見て考えたことをもとに、話し合う。 世界の中での日本の立場は、どのように変わっていったのだろう。 ■予想を立てる。 ・日清・日露戦争の勝利によって欧米諸国から認められる存在になった。 ・朝鮮を支配するようになった。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・日本は韓国を併合し、自国の領土を広げた。 ・韓国を併合することで、欧米諸国から認められた。 ・小村寿太郎が交渉して関税自主権を回復させた。 ・欧米諸国と対等な関係を築くことができるようになった。 ・野口英世は、細菌学を学び、多くの人の命を助けた。 ・夏目漱石は、日本に新しい文学を生み出した。 1911年には、小村寿太郎が条約改正に成功し、関税自主権を回復させた。また、医学などの研究で世界に認められる学者が現れ、日本の国際的地位の向上に貢献した。	□領土の広がり □日本語で教育される朝鮮の子どもたち □なくなる朝鮮語の授業 □条約改正の流れ □小村寿太郎 □イギリス大使当時の小村寿太郎	ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、日本の世界への進出と国際的地位の向上について理解しているか」を評価する。 【知—①】●
7 生活や社会の変化	産業の発展によって起こった社会問題や、さまざまな運動について調べることを通して、人々の民主主義への意識が高まったことを理解することができる。	■工業の発展が、どのような問題を生んだか考える。 産業の発展によって、人々の生活や社会はどのように変化したのだろう。 ■予想を立てる。 ・生活が便利になった反面、公害が起こった。 ・西洋風の文化がさらに発展した。 ■資料から調べる。 ■対話で自分の考えをよりよく深める。 ・産業が発展することで鉱毒問題がおき、田中正造は、私財を投げうって民衆を助けた。 ・労働問題や農民問題、差別をなくす運動が起こった。 ・立場は違うけれど、社会的な権利を主張している点で共通している。人々の民主主義への意識が高まったからではないかな。 産業が発展し都市化が進む一方で、様々な社会問題が起きた。また、人々の民主主義への高まり、普通選挙や女性の地位向上、差別撤廃を目指す運動が起こった。	□重工業の発達 □ラジオ放送が始まる □交通の発達 □洋服の普及 □田中正造 □足尾銅山の位置 □普通選挙の実現を要求するデモ行進 □米を売る店におしかける人々 □女性運動 □演説する山田少年 □震災後の東京	ノートの記述や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、日本の近代化や産業の発展にともなう国民生活の変化や民主主義への意識の高まりについて理解しているか」を評価する。 【知—①】●

8 学習のまとめ	調べたことをもとに、学習問題についてカードや文にまとめる。それらをもとに話し合い、これまでに学習したことと関連付けて、日本の国際的地位の向上や世の中の変化について考え、表現することができる。	■単元の学習問題を確認する。 日本が国内外で行った近代化への取り組みは、国内外にどのような変化をもたらしたのだろう。 ■日本が世界に歩み出す中で活躍した人物を整理する。 ・陸奥宗光は、イギリスを相手に領事裁判権をなくすことに成功した。 ・東郷平八郎は、ロシア艦隊を破り、日露戦争の勝利に貢献し、日本は欧米諸国に力を認められるようになった。 ・与謝野晶子は、ロシア軍と戦う弟を思い、戦争に反対する気持ちを発表した。 ・小村寿太郎は、条約改正により、欧米諸国と対等な関係を築いた。 ・野口英世は、アメリカに行き、細菌学の研究に力を注いで、広く世界に認められた。 ・平塚らいてうは、女性や母親の権利を守ることを強くうたった。 ■整理した人物が、どのように貢献したかを話し合う。 ■この時代はどんな時代だったといえるか、考えをまとめる。 我が国の産業や科学・文化の発展と国力の充実にともなって、日清・日露戦争に勝利し、国際的地位が向上したことで条約改正が達成されたけど、産業の発展は人々の生活や社会に大きな変化をもたらした。	□これまでに使用した資料 人物カードやノートの記述内容から、「日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などを関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の変化を考え、適切に表現しているか」を評価する。 【思—②】○ ノートの記述内容から、「我が国の国力が充実に国際的地位が向上したことを理解しているか」を評価する。 【知—②】○
--------------------------------	--	---	--

■ 本時の「ねらい」
 小村寿太郎が、賠償金を取れないことが分かっているにもかかわらずロシアとポーツマス講和条約を結び、日露戦争を終わらせようとしていた理由を考える活動を行い、当時の世界や日本の様子、小村寿太郎の願いや働きに着目することで、小村寿太郎は未来を見通し、今このタイミングで条約を結ぶことが日本の安全と地位を守ることになるのだと考えていたということを、考え表現することができる。
 【思考・判断・表現】

■ 本時に働かせる見方・考え方
【見方・考え方】 ＜位置や空間＞領土の広がり＜時間＞日露戦争の流れ＜かかわり＞小村寿太郎の願い・欧米諸国との関わりに着目し、総合する

時間	学習活動	「ねらい」にせまるための手立て
0 課題化 5 個人追究 13 小集団追究 28 全員で学び合う 40 振り返り 45	● 学習活動 ・ 児童の姿 ● アメリカのポーツマスへ向かう横浜港での小村の会話の資料から、本時の学習問題を立てる。 - 国民は日本がロシアに連戦連勝したことで、多額の賠償金と領土をロシアからもらうことができていると思っている。 - 小村寿太郎は、ポーツマス講和条約を結ぶ前から、国民に批判されることは分かっていたんだ。 国民から批判されると分かっていたのに、小村寿太郎がロシアと賠償金の取れない条約を結んだのはなぜだろう。 ● 予想を立てる。 - ロシアはヨーロッパの強い国の一つで、プライドが高いから、ばいしような金が取れなかったのかな。 - 日本は、もう戦争を続けることができなかったのかな。 ● 追究する方法の見通しをもち、学習問題を追究する。 個人追究 ● 以下の見方に着目して追究し、自分の考えをもつ。 〈日本の様子〉(比べる) - 日露戦争では、日清戦争に比べて戦死者や負傷者が大きく増えた。戦争にかかったお金も国家予算の約7倍だ。 →日本は、これ以上戦争を続けると、被害がさらに大きくなり国が減びてしまう。これ以上戦争は続けられない。 〈当時の世界や日本の様子〉(かかわり) - 日本に対してアメリカもフランスもロシアとの講和をせまってきた。 →欧米諸国に認められるには、今条約を結ばなければいけない。 〈小村寿太郎の願い〉(かかわり) - ロシアとの講和のタイミングを伺っている。小村は、ロシアといつ講和条約を結ぶと日本にとってよいか考えていた。 ・小村は、外務大臣になったときから、条約改正を目指し、日本の安全と地位を守ることを第一に考えていた。 →今このタイミングで条約を結ぶことが、日本を守ることにつながる。 小集団追究(対話)・全体追究 ● 班やクラスの仲間の考えにふれ、自分の考えをよりよくする。 これ以上戦争は続けられない 〈戦争の様子〉 日清戦争と比べて ・多額の戦費を使う ・多くの人が戦争へ戦傷死者多数 〈日本国内の様子〉 ・増税に苦しんでいる ・家族が戦争へ行ってしまう ・人々が生活ができない 〈欧米諸国との関わり〉 ・アメリカもフランスも戦争をやめるべきだと進めている。 日本には、もう戦う力が残っていない 日本が認められない 今ここで条約を結ぶ 領土のかくどく 戦勝国になる 世界から認められる 日本の安全と地位を守る	「ねらい」にせまるための手立て ◇研究内容1:「個別最適な学び」 - それぞれが着目した見方に応じて、資料を選択したり、相互に関連付けたりして追究することができるようにする。 - 児童には、どの見方・考え方を使って追究したのかを確認・指導していく。 ◇研究内容2:「協働的な学び」 - 仲間の考えにふれることで、学習問題に対する自分の考えをよりよくすることができるよう、以下の対話の視点を示す。 【対話の視点】 「自分の考えをよりよくしよう。」 - 対話において、自分の考えと仲間の考えを比較・分類・統合させ考えていくことを全体やグループで指導する。 - 対話の最中や授業の終末で、よりよい考えを生み出した姿を根拠とともに価値付け、広める。 板書計画 